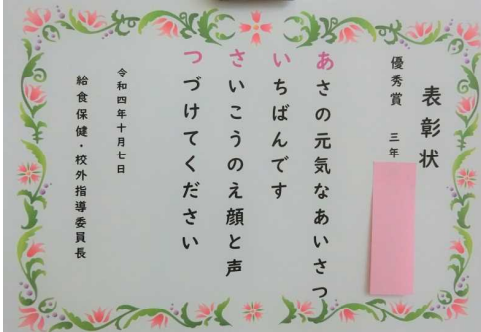




たちばな

〔文責 校長 吉田 恵仁〕

あいさつ名人が増えました。



「おはようございます」と朝から元気な声が聞こえ、気持ちのよい1日がスタートします。本校では、PTA給食保健・校外指導委員会の方々を中心に、毎月第2・第4火曜日の朝、門の近くで挨拶運動をしていただいています。後期始業式の10月11日も朝早くから、挨拶運動に取り組んでいただきました。ちょっと肌寒い朝でしたが、子どもたちは、きちんと立ち止まり、お辞儀をして「おはようございます」と大きな声で挨拶をすることができていました。PTA給食保健・校外指導委員会の皆様からも、「気持ちのよい挨拶ができていますね。」という声をいただきました。ありがとうございました。

このように、気持ちのよい挨拶をしている子どもたちを表彰しようと、挨拶名人さんを見つけたいと思います。1年生から6年生まで30人の人が挨拶名人に選ばれています。名人さんには、給食保健・校外指導委員長さんより表彰状をいただきました。挨拶の輪が、全校に広まり、校区内にも挨拶が広がるといいなと思っています。

修学旅行でたくさんの学びがありました。(6年生)



10月12日～13日の2日間、6年生は、長崎市内へ修学旅行に行ってきました。今年の6年生がたてた修学旅行のめあては、

- 原爆や戦争の恐ろしさを知り、平和について自分たちにできることを考え、伝えよう。
- 自分たちで考えて進んで行動し、友だちと協力してみんなが楽しく思い出に残る修学旅行にしよう。

でした。

【1日目・平和について学ぶ】

まず、城山小学校の会議室で4歳の時に被爆された伊藤さんの話を聞きました。家族を亡くし、大切なものをなくされた伊藤さんは、命の尊さや助け合うことの大切さについて涙ながらに話をされました。

午後は、長崎原爆資料館やフィールドワークでたくさんの被爆資料を見たり、追悼祈念館で平和集会をしたりし、平和の尊さと戦争の悲惨さについて熱心に学びました。

【2日目・長崎の文化について学ぶ】

長崎文化歴史博物館をスタート地点とし、眼鏡橋や出島、中国歴代博物館、グラバー邸など、班ごとにフィールドワークを行いました。自分たちで計画を立て、地図を見ながら歩きました。途中で道がわからず困った班もありましたが、長崎で出会ったたくさんの人たちに助けをいただき、無事にフィールドワークを行うことができました。

この2日間は、友だちとともに考え、協力して学ぶ大切な学習となりました。みんなでためあても達成でき、心に残る修学旅行になったと思います。保護者の皆様、さまざまなご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

5年 総合的な学習の時間 「キラリ!汗の輝き」



【かがやきで昼食運びをする様子】

職場体験から帰ってきた子どもたちの表情は、とても生き生きとしていました。子どもたちを受け入れていただいた地域の皆様、どうもありがとうございました。

「地域で働く人との関わり、調査、体験などを行うことによって、働くことの意義や働く人の思いを理解するとともに、自己の生き方について考える」ということを学習の目的として5年生が2日間の職場体験を行いました。

みつとも保育園やかがやき、道の駅たちばななど立花町を中心に13の事業所さん等にお世話になり、小さい子どもたちや施設利用者の方々と触れ合ったり、商品の箱詰めや様々な仕事の手伝いをさせていただいたりしました。

2日間にわたる職場体験をする中で、仕事の大変さだけでなく、仕事をされている皆さんの仕事や商品、関わる人たちへの熱い思いについて学ぶことができたようです。

境界線を大切に (性暴力対策アドバイザー授業)



【授業の様子】

などの対処方法について教えていただきました。お互いの気持ちを確認せず、勝手に相手や自分の大事なところを「みる・さわる」「みせる・さわらせる」ことは、「性の」境界線が守られていない「性暴力」になります。これを機会に、各家庭でも「境界線」について話をしてみてください。 ※困ったことや悩んでいることがありましたら、相談窓口があります。

(性暴力被害者支援センターふくおか 092-409-8100 24時間 年中無休 秘密厳守)

10月18日(火)に福岡県性暴力対策アドバイザーの戸山さんにおいでいただき、5・6年生の児童を対象に、「境界線」や「性暴力にあったとき」について話をさせていただきました。

戸山さんは、人との関わり方(距離)について「境界線」という言葉を使い、「境界線」は、自分を守る、相手を守る透明バリアであり、超えてはいけないものだということをお話されました。

また、「境界線がピンチ」なときは

- ・「イヤ」だと相手に伝える
- ・その場を離れる
- ・味方になってくれる大人に話してみる

立花小・中連携教育 合同授業研究会②



【技術の授業の様子】

り組んでおり、小学生のときに担任をした職員はもちろんのこと、参観した全職員が中学生の頑張りを大変うれしく思っていました。

また、授業参観後は、授業参観をして気づいたことや学力向上、生徒指導、人権・同和教育に関する日常の取組についての交流会を行い、研修を深めたところです。今後も小中協力し、子どもたちを育てていきたいと思ひます。

10月20日(木)立花小・中の先生方が立花中学校に集まり、研修会を行いました。今回は、中学1年生の国語科、2年生の技術・家庭科の授業を見せていただきました。

国語科では、比喻表現の効果について考え、比喻表現は短い言葉でわかりやすく伝えることができることを学んでいました。また、技術では自分の名前をモチーフにしたプレートスタンドの製作、家庭科では災害時の非常持ち出し袋の中身について考えていました。

中学生の生徒は、大変落ち着いた様子で学習に取り組んでおり、小学生のときに担任をした職員はもちろんのこと、参観した全職員が中学生の頑張りを大変うれしく思っていました。